



霰粒腫の治療

霰粒腫（さんりゅうしゅ）は瞼にできる「できもの」のことです。瞼には脂腺が豊富にあります。その脂腺が詰まったり、炎症を起こしたりして腫れることで起こります。異物感や見た目の変化で受診する方が多いです。

治療は、大きく3つあります。

- ① 点眼や軟膏などで経過観察
- ② ステロイドの局所注射
- ③ 外科的治療

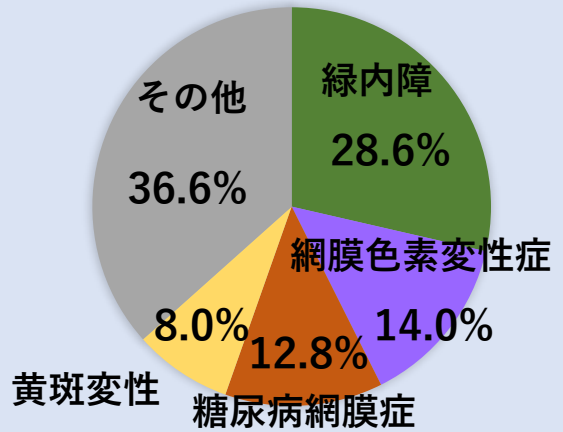
急性期で感染を合併している時は抗菌剤内服なども行いながら消炎につとめます。しこりが残ってしまった時が問題になりますが、基本的には自然経過でも小さくなっていくことが多いですが時間がかかります。

治療期間の短縮のためには、外科的な治療で、切開を行い内容物を除去する方法が最も早いです。局所麻酔をして、行いますので麻酔のところだけ痛みを我慢すれば、施術の時には痛みを感じることなく治療ができます。当クリニックは切開に対応しておりますので、ご相談ください。

視覚障害の原因疾患

2015年度に全都道府県の全自治体を対象にした視覚障害の実態調査の結果について、岡山大学の森實医師がまとめたデータがあるので紹介します。（参考：日本の眼科2020年10号）

2015年度 視覚障害の原因疾患



2015年4月1日から2016年3月31日の間に、新規に視覚障害認定を受けた18歳以上の視覚障害者の実数データを調査したものです。過去のデータから糖尿病網膜症の割合が減少しており、治療薬、治療法の進歩により、重症化する患者数が減っていることが予想されます。